

2016 ROTAX MAX FESTIVAL in SUZUKA CIRCUIT



開催サーキット:  SUZUKA CIRCUIT

2016/09/10-11

本大会事務局
JAF申請 クローズド格式



赤旗公式通知

シリーズクラス対象

競技中の赤旗に関しては、競技長より赤旗の理由と再開時刻がアナウンスされる

今大会の、MAX FESTIVAL各クラスにおいて、赤旗(競技中断)提示後の競技再開に関して、下記の通り国際カート規則ならびにJAFの国内競技規則通りとします。

記載ない事項に関して、競技長の判断によって、その後が決定されアナウンスされます

公式練習時 : 赤旗提示を確認したドライバーは速やかに競技を中止し、前車を追い越さず、指定のホームストレートまで戻り安全に停止する。その場合、競技が60%(赤旗提示前の時間)以上経過していた場合はその時点で終了とする。競技が60%(赤旗提示前の時間)未満だった場合、全ドライバーが公式練習再スタートとなる。ただし、競技長が指定した時間に参加出来るドライバーのみとする。

タイムトライアル時 : 赤旗提示を確認したドライバーは速やかに競技を中止し、前車を追い越さず、指定のホームストレートまで戻り安全に停止する。その場合、競技が60%(赤旗提示前の時間)以上経過していた場合はその時点で終了とする。競技が60%(赤旗提示前の時間)未満だった場合や出走していないドライバーがいた場合、全ドライバーが再スタートとなる。

ただし、競技長が指定した時間に参加出来るドライバーのみとする。

予選またはプレファイナル : 赤旗提示を確認したドライバーは速やかに競技を中止し、前車を追い越さず、指定のホームストレートまで戻り安全に停止する。その場合、競技が60%(赤旗提示前の周回数)以上の周回数を終えていた場合は、赤旗提示前の周回数で予選成立とする。競技が60%(赤旗提示前の周回数)未満の周回数だった場合、全ドライバーが当初のグリッドポジションで再スタートとなる。ただし、競技長が指定した時間にスターティンググリッドに着けるドライバーのみとなり、トラブルの回復が見込めないドライバーはリタイアとなる。 ※競技周回数は天候等によって減算する場合もある

決勝時【ファイナル】 :

- 1、赤旗提示がローリングで発生した場合⇒ローリングに参加していたドライバーのみで再スタート
- 2、赤旗提示が決勝1周で発生した場合⇒ローリングに参加していたドライバーのみで再スタート
- 3、赤旗提示が決勝周回の60%未満で発生した場合⇒赤旗提示前の周回において、先頭車両から以降コントロールラインを通過していたドライバーのみがスタート時のグリッドに戻り再スタートができる。ただし、競技長が指定した時間にスターティンググリッドに着けるドライバーのみとなり、トラブルの回復が見込めないドライバーはリタイアとなる。 ※競技周回数は天候等によって減算する場合もある

※注 1)リタイア車両があった場合、そのポジションは基本詰めないで再スタートとなるが、リタイア届けが出た場合、そのポジションは詰めて、グリッド編成を修正しスタートする。

※注 2)車両の修復や軽度の整備(給油を含む)は競技長からの指示が出るまで実施はできない。車両の修復はピットエリアのみで行えるもので、その他のエリアで作業した場合はその時点でレース放棄となりリタイア扱いとなる。

- 4、赤旗提示が決勝周回の60%(赤旗提示前の周回数)以上の場合⇒その時点で決勝成立とする。

※注 1)ローリングを乱したドライバーによって赤旗が出た場合、グリッド降格や最後尾と判断する

※注 2)競技再開までに給油やカート修復が必要な場合、再開時間や対応を告知・アナウンスする。

赤旗再開のスタート方式【全ヒート対象】 : 雨天時または路面コンディションが著しく悪い場合、ニュートラリゼーション方式(一列)によって、競技が再開される。